

あいちの印刷

8

2009.8
No.453



ひまわり

もくじ

巻頭言 「事業承継とは」	
/ 経営革新委員長 佐藤壽記.....	3
愛印工組・7月期理事会・支部長会.....	4
中部地区印刷協議会	
/ 平成21年度上期会議（富山県会議）.....	6
中部地区印刷協議会 / 平成21年度上期会議 （富山県会議）分科会報告より.....	8
新GPマークの表示について.....	11
「印刷業者の倒産動向調査」.....	12
「ジャパンカラー認証制度」認定へスタート.....	12
身近な催し物のお知らせ.....	13
日印産連「グリーンプリンティング認定工場」.....	14
新刊書案内 / 事務局だより.....	14

巻頭言

「事業承継とは」

佐藤 壽記

経営革新委員長

今年度、私の所属しております経営革新委員会では、「事業承継」について取り組むこととなっております。時代を反映してか、銀行系や証券会社、また経営コンサルタント会社などが主催する「事業継承」のセミナーは、いたる所で開催されております。

しかし、そのほとんど（全部といって過言ではないでしょう）が、自社株の譲渡のしかたなどを中心にした税務に関する内容であり、中小企業が抱えている本質の問題点を捕らえていないような気がしております。

そこで、我が組合では「幸せな事業継承」と銘打って、経営者が「いつ」「誰に」「どのように」継承すれば良いのかから、順を追って考えていく機会を考えております。

後継者不在で、廃業を余儀なくされる企業、子供がいてもその子が継いでくれなかったり、また継がせたくないとする経営者もいらっしゃるに違いありません。

また、今の仕事に先行き不安を感じることもあるでしょう。

そんな環境の中、「事業承継」というものを大きな枠内で捉えて考えていきましょうというものです。個人的には会社を未来へ託す方法は、

- ・身内に継いでもらう
- ・社員の誰かに継いでもらう
- ・M & Aしてもらう
- ・廃業する

の4通りしかないと思っています。

私自身も後継者として、今の会社に入社して20数年が経ちました。後継者には後継者にしか理解できない悩みもあります。そんなことを共通の課題にしながら、自らがどの方法をとるのが一番幸せなのかを皆さんと一緒に考える機会を作りたいと考えております。

組合員の皆様から問題点を抽出して、より良い勉強会が出来ることを望んでおりますので、良きアドバイスをお願い申し上げます。

なぜ、人材派遣はモトヤ？

印刷関連業務のスタッフを
必要なときに必要な期間だけ
派遣します。

人材を探している企業と仕事を探している人材の出逢いのサイト

M-JOB-N@VI

<http://www.m-job-navi.com/>

モトヤ人材派遣部 名古屋 ☎(052)935-5315

モトヤ人材派遣部 大阪 ☎(06)6261-1941

モトヤ人材派遣部 東京 ☎(03)3523-8719

派遣事業許可番号 般 27-030254 / 紹介事業許可番号 27-コ-030174

それは、印刷関連業務に特化した
人材派遣・紹介を展開しているのは、モトヤだけだから...

■ 派遣職種 ■

- コピーライター ● デザイナー ● WEBデザイナー
- DTPオペレーター ● スキャナーオペレーター ● CTPオペレーター
- 印刷オペレーター ● 校正 ● 印刷進行管理者 など全般

業界で一番お客様思考に立った印刷関連総合商社を目指す

 株式会社 **モトヤ**

<http://www.motoya.co.jp/>

名古屋 〒461-0035名古屋 市東区黒門町 128 ☎(052)935-5315

大阪 〒542-0081大阪市中央区南船場 1-10-25 ☎(06)6261-1931

東京 〒104-0032東京都中央区八丁堀 4-5-5 ☎(03)3523-8711

横浜・埼玉・千葉・京都・神戸・姫路・福岡



愛印工組・7月期理事会・支部長会

合同レクリエーション大会など
組合事業への積極的参加・応募を要請

“全印工連フォーラム2009”開催
10月9日 / 東京ビッグサイト会議棟

愛印工組（高井昭弘理事長）は、7月17日午後3時30分より、愛知県印刷会館会議室で、平成21年度7月期理事会と支部長会を開催しました。

議事では、各委員会から、平成21年度事業の進捗状況と今後の計画が報告され、特に「従業員・家族合同レクリエーション大会」（組織・共済・労務委員会担当 / 9月27日開催）はじめ、今後予定されているセミナー、講演会、永年勤続優良従業員表彰などへの積極的な参加・応募が要請されました。報告事項では、平成21年度地区協上期会議（富山県会議）の報告が行われ、更に今後の理事会等会議開催日程が説明され、また、支部長会では各支部の活動の現況が報告されました。

“1人当たり100万円の利益”を！

理事会の司会は村瀬誠専務理事が務めた。

冒頭、挨拶に立った高井理事長は最近の経済状況にふれ、「大企業では多少、明るさが見えてきているのかもしれませんが、中小企業は今から大変な時期になるのではないかと私自身は思っています」と厳しい現状認識を示した。また、大企業が再編成の時期に入っていることを具体例を挙げながら指摘するとともに、大企業が下請企業に対して選択と集中を進めていることに懸念を表明し、次のように述べた。

「（大企業に）選ばれたところは、仕事が潤沢にありますから、徹底した合理化・コストダウンをしてくると思います。発注する会社も含めて、下請が強い体質になり、そのグループがますます強くなって行くと考えられます。では残された、漏れたところはどうなるのか？退場せざるを得ない事態がくるのではないかと思います」

その上で高井理事長は中小印刷業が生き残っていく条件として、「本物の経営」（経営理念、目標・目的が明確な会社 / 納税ができ、働く人たちが成長

でき、安心、安定して働ける場を持つ会社）の実践を挙げ、そのためには「売上対経常利益率5%」（小規模事業所では1人当たり100万円の利益）の確保の必要性を強調した。

この後、高井理事長を議長として議事に入った。

議事

議事事項のうち、平成21年度委員会事業の件では、組織・共済・労務委員をはじめ、各委員会の委員長（代理を含む）が事業活動の内容を報告した。

平成21年度委員会事業の件

組織・共済・労務委員会

猪飼重太郎委員長が、9月27日に開催する「従業員・家族合同レクリエーション大会」の内容（奈良公園ウォーキング&薬師寺拝観と執事長の法話）を説明、積極的な参加を要請した。また、11月1日付けで実施される永年勤続優良従業員表彰への応募を要請した。

官公需対策特別委員会

木野瀬吉孝委員長が、愛知県産業労働部と折衝したが、県の提供資料が組合側の要望を満たすものではないことから、「再度、申し入れをします」と報告した。また、他県で最低制限価格制度の導入が徐々にではあるが、増えていることから、「いろいろな方法を講じて、粘り強くやっていきたいと思っています」と述べた。

環境委員会

細井俊男委員長が、「COP10（生物多様性条約第10回締約国会議）」が平成22年10月に愛知・名古屋で開催されることから、「組合主催でイベントを行いたい」と表明した。現在のところ、会場、内容、規模は未定。また、平成20年度省エネ法改正に伴う「企業全体でのエネルギー使用量の把握」（平成22年度実施）に関しては、「いろいろな情報を把握して提供して行きたい」と述べた。

経営革新委員会

佐藤壽記委員長が、「印刷寺子屋」でこれまで開催した勉強会（6月5日と7月3日）と今後開催予定の勉強会（8月7日と9月4日）を説明、「今年度は基本的に、全国の社長様を迎え、取り組んでいる事業、経営について話をうかがうというコンセプトで実施しています」と述べた。

企業見学会は、「11月13、14日の2日間の予定で準備を進めています」と説明した。「幸せな事業継続に関する勉強会」については、「これから委員会で検討して行きます」と報告した。

マーケティング委員会

鬼頭則夫委員長に代わり、伊藤公一委員が6回シリーズで実施している「プロモーション・マーケティング認定資格受験準備勉強会及びミニセミナー」の内容について説明した。

今後の行事予定

村瀬専務理事が、平成21年度技能検定試験（オフセット）の実施状況を説明した。また、「愛印産連・平成21年度セミナーと交流会」（8月11日 / 名古屋国際ホテル）と「全印工連フォーラム2009」の内容を紹介し、参加を要請した。このうち全印工連フォーラム2009の内容は次のとおり。

全印工連フォーラム2009

- ・タイトル＝「米国印刷産業界のトップが語る、成功への新たな挑戦」
- ・講師＝マイケル・マーキン氏（米国印刷工業会会長）
- ・日時＝10月9日午後2時より（JGAS2009期間中）
- ・会場＝東京ビッグサイト会議棟6階会議室
- ・会費＝有料、テキスト代込み

報告事項

平成21年度地区協上期会議（富山県会議）報告
経営革新・マーケティング、教育・労務、環境、組織運営、共済事業、理事長会の各分科会に参加し

た代表が概要を報告した。

事業報告

村瀬専務理事が、理事会等会議開催日程を説明した。（別項参照）

支部長会

中村、中川、西尾張、東南、岡崎、知多、西三河、東三河、中、東北、東尾張、熱田の支部長（代理含む）が各支部活動の現況を報告した。

なお、理事会の最後に高井理事長が「まとめ」として発言し、「愛印産連・平成21年度セミナーと交流会」、「従業員・家族合同レクリエーション大会」への参加、永年勤続優良従業員表彰とMUDコンペへの応募を要請した。また、技能検定試験の申込者が増加していることから、来年度は抽選になる可能性があることを示唆した。

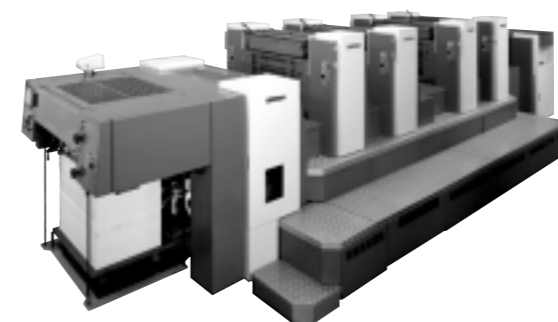
理事会等会議開催日程

- ・9月期＝9月17日（愛知県印刷会館 / 三役会、理事会）
- ・11月期＝11月19日（愛知県印刷会館 / 三役会）
- ・12月期＝12月4日～5日（犬山ホテル / 三役会、支部長会、理事会）
- ・平成22年2月期＝2月18日（愛知県印刷会館 / 三役会、理事会）
- ・3月期＝3月19日（愛知県印刷会館 / 三役会）

参考

- ・平成22年1月13日＝新年互礼会（名古屋東急ホテル）
- ・平成22年2月19日～20日＝地区協下期会議（キャッスルプラザ / 名古屋市）
- ・平成22年5月21日＝平成22年度総代会（名古屋観光ホテル）
- 平成22年6月18日～19日＝地区協上期会議（JALホテル / 金沢市）
- 平成22年10月15日～16日＝全日本印刷文化典in岐阜（岐阜グランドホテル）

これが、魅せるマシン。性能ぐんぐん進化。魅力ますます真価。



SHINOHARA
75VIHP

篠原商事株式会社 株式会社 篠原鐵五所

本社 〒421-1222 静岡県静岡市葵区産女1022
TEL(054)276-2008 FAX(054)276-2010
名古屋営業所 〒454-0985 名古屋市中川区春田3-147
TEL(052)302-5651 FAX(052)302-5654

最新の情報は <http://www.shinohara.com> に掲載しています。

中部地区印刷協議会 / 平成21年度上期会議 (富山県会議)

「業態変革実践プラン - 特化と多様化 - 」

水上光啓・全印工連会長



本稿は、中部地区印刷協議会 / 平成21年度上期会議 (富山県会議) の席上、水上光啓全印工連会長の講演内容をまとめたものです。

重要な役割果たす「連帯」

全印工連には、基本的に「連帯」「対外窓口」「共済」という三つの機能があります。その中で、私は特に「連帯」にこだわり続けてきました。情報化社会ですので組合に加入していなくても情報は入ってきます。しかし、ネットを通じた情報には心がこもっていません。我々の「連帯」とは、まさしく本日の地区協です。皆で一緒に勉強して共感を得、酒を飲むことも重要で、これが組合の「連帯」という基本的な機能だと考えます。また「連帯」は、大勢の仲間を生みだします。仲間がいれば、自分の立ち位置がわかりますし、激変する社会の中で、自分の立ち位置を明確にするのはものすごく大事なことです。この組合の基本的機能「連帯」は、ますます重要な役割を果たすと思います。

組合はいろいろな情報発信をしております。例えば、「メディア・ユニバーサルデザイン」。いままでは、ハンディキャップを負った人が普通の人に合わせた。しかし、私たち印刷人は色と文字のプロです。それなのに、我々がハンディキャップを負った人に合わせるという当たり前なことができていませんでした。「メディア・ユニバーサルデザイン」の冊子には当たり前なことが書いてあります。是非、活用して下さい。

昨年の鹿児島大会で、新たに「業態変革実践プラン」をキックオフしました。よりわかりやすい手法を提案させていただきました。それでも「解答が欲しい」と言う人がいます。全印工連には、6,500社の会員がいますので、

解答は6,500通り、ゴールも6,500通りあります。それだけありますから中小企業でも生き残れる。もし、ゴールが10通りほどしかなかったら、大手の10社くらいしか生き残れない。「業態変革実践プラン」はロードマップですから、それを活用して、自社の生き残り策を自分で考えてもらいたいと思います。また、全印工連では、もっときめ細かく「業態変革実践プラン」を提案できるよう、推進企画室において取り組みを進めておりますので、ご期待下さい。

企業にとって持続性は重要です。組合の役割は持続性を側面からサポートすることで、そのためにいろいろな情報を発信し続けます。そして、持続性を支えるためには、印刷業が魅力ある産業であることをアピールしなければなりません。次世代にとって魅力ある産業でなければ、私たちは次世代への責任を果たせません。魅力ある産業にするため、若い人を中心に「印刷産業戦略デザイン室」を立ち上げました。すぐにやることと、将来を見据えた計画づくり、この2つを今年1年間進めていきます。

「感性価値」の提案

今年の5月に、私はアメリカへ行ってきました。目的はPIA訪問と、感性価値の展示です。PIAに所属する企業は1万社。全印工連は6,500社。PIAの1社当たりの社員数は26名。全印工連は20名。PIAも全印工連も同じようなものです。ただ、PIAは技術協会がくっついた形になっていますので、そこが全印工連とは違います。

私は1年半前にもPIAを訪れています。その時は、もの

すごく元気でしたが、今回は元気がありませんでした。不況により、アメリカの印刷産業も厳しい環境下にあります。その現実を見て、心に痛みを感じました。私がPIAの役割を聞くと「ナビゲーター」という答えが戻ってきました。全印工連と同じです。6,500通りのゴールに向かうロードマップは、これからも全印工連が用意しますので、活用していただくことをお願い申し上げます。

PIAのマイケル・マーキン代表は2001年に就任し、その時から「1ドルの印刷をすると、付帯するサービスが6~8ドルある」と言い続けています。これからも言い続けるのかと聞くと「絶対に言い続ける」と断言しました。マイケル・マーキン代表は絶対にブレない。全印工連も「ワンストップサービスで収益拡大を」と言い続けます。10月9日にマイケル・マーキン代表の講演会が東京で行われますので、是非、お聞きいただきたい。

いま、全印工連では、政府の働きかけもあり、「感性価値」を提案しています。政府は「『感性』とは、個人の心の感性に直接働きかけて、共感・感動を得て、モノ・サービスの付加価値を上げること」と説明しています。印刷であれば、紙の上にただインキをのせるだけでなく、感性という付加価値をのせることになります。私もこれは非常に大切だと思います。そういう努力をしていく必要があります。

ビジネスのハブ「御用聞き営業」

私は最近、御用聞き営業は素晴らしいと考えるようになりました。一頃、御用聞き営業は悪の塊、旧時代の化石のように言われていましたが、そうではありません。サービス業としての御用聞きはものすごく大切です。昔の日本にはたくさんの御用聞きがいた。富山の薬売は御用聞きの典型のようなもので、置き薬で全国の家を回っていました。このビジネスはいまでも続いています。スーパーマーケットができた時から、肉屋、魚屋、酒屋の御用聞きは来なくなってしまいました。

印刷業の営業は、お客様を毎日、訪問しています。これをより深く入り込み、顧客の悩みを聞き出し、それを解決して差し上げれば喜ばれるに決まっています。自社でできることは社内で処理し、できないことは仲間とコ

ラボレーションして解決する、こういう御用聞き営業は、大きなビジネスのハブになります。ハブになるためには、従来の営業ではダメで、一步深めた対応をし、お客様と共感する必要があります。社会が進化すればするほど、人でなければできないことが増えてきます。そういう意味では、御用聞き営業は必要性を増すはずで

しかし、社会や顧客がシュリンクしているので、仕事もシュリンクしていきます。従って、従来と変わらない営業をしていて同じ付加価値を得ることは絶対にできません。お客様の悩みを聞いて解決し、印刷の周りの仕事を少しずつ増やしていきます。それがワンストップサービスという御用聞き営業の考え方です。印刷物を作ることは私たちにしかできませんから大切にします。お客様は、「考える」「つくる」「使う」という3つの行為を常に行ってききましたが、私たちは「つくる」という行為にのみ専念してきました。お客様は悩んでいます。お客様の面倒なことを手伝えることが求められていますので、できることから一つずつ進めていただきたい。

業態変革と同時に新しい教育を!

お客様の要求を形にすることがサービスなので、お客様が介在しなければ、それはできません。印刷業は「業界独特の事情がある」と言い訳しますが、それはやめるべきです。どんな産業にもそれぞれ特殊な事情がありますので、そういう言い訳は通用しません。営業は、お客様の満足度を最大にするべきです。いままでの社員教育は、工程や手配の仕方の教育でした。これは我々の反省点です。納品したあとの印刷物がどう使われるのか、そういうトータルでの社員教育にシフトしていく必要があります。

想像もできなかったような変化の中で、従来と同じことをしていたのでは、生き残りは難しくなります。業態変革と同時に、教育の仕方も変えなければなりません。新しい教育で求められるのは、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力です。大きな観点でビジネスを考え、クロスメディアやサービス業的なスタイルを目指していくことになります。全印工連は行動する組合でありたいと考えていますので、これからも積極的に皆様の側面からのサポートをさせていただきます。

TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか? 私たちはモノ作りの会社として、先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。

私たち東洋インキグループは、世界にひろがる「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ製造株式会社 www.toyoink.co.jp

中部支社 〒461-0025 愛知県名古屋市中区徳川1-901 サンエース徳川ビル1階 Tel: 052-979-7451

KONICA MINOLTA

私たちはエコを
考えています。

優れた環境適性と実用性を両立したCTPプレート

- 現像液処理不要(ケミカルレス)
- 廃液削減による環境適性
- オペレーターに優しい作業性
- 現像液管理不要による安定した再現性
- 配管不要による省スペース稼働
- 高い検版性を有する出力品質

ECO PRODUCTS **新発売** **BLUE EARTH**
ケミカルレスCTPシステム

The essentials of imaging

コニカミノルタ グラフィックイメージング株式会社 中部営業部: 〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上名古屋上かわビル10F/TEL.052-231-6277(代)

中部地区印刷協議会 / 平成21年度上期会議(富山県会議)分科会報告より

経営革新・マーケティング分科会

経営革新・マーケティング委員会 / 出村明副委員長(石川県工組常務理事)

全印工連からの報告事項としては、現在、用紙価格の動向調査を行っているところだが、CTP版、PS版も含めて調査するので、併せてご協力いただきたい。また、昨年に引き続いて、印刷業経営動向調査を行っているが、回答数がまだまだ少ない。FAXで直接、全印工連に送っても構わないので、回答を寄せていただきたい。「印刷現場における個人情報保護Q&A」が日印産連のホームページで公開されているので、是非、ご覧いただきたい。

意見交換では、官公需に係るアンケート調査結果について、「所有権」「著作権」などの各種権利帰属問題への対応について協議した。岐阜県では、ある会社が受注をしていたが、次年度の入札で別の会社に移った時の、前の会社のイラストがそのまま利用された事例があったとのことである。三重県では、PDFと一緒に納品する形が段々慣例化されてきているが、PDFは積算をしていないというのが実態である。これらの問題への全印工連の見解をお聞きしたい。

価格の問題については、田中委員長から「付加価値を高めて顧客に対するサービスを向上してもらいたい。そのためにも、財務、数字に強い会社になるように、各社で努力していただきたい」という発言があった。

教育・労務分科会

教育・労務委員会 / 岡田邦義委員(愛知県工組理事)
研修内容は地域に合った内容かどうか疑問を感じるので、全印工連には実情に合った内容の研修に取り組んでいただきたいという意見が出された。また、業態変革のフォローアップも考えていく必要があるという声もあり、各工組でそのフォローアップの仕組みづくりに取り組む

うということになった。

中部地区協については、会議の間では情報公開が少ないのではという声が上がし、メールやFAXを使ってもいいので、いろいろな意見を出して交換の場にしていただきたいという要望が出された。

セミナーの実施では、内容によっては参加が少なくなってしまうし、会場も愛知県の場合は名古屋市での開催が多いが市外は少ないという意見が出された。良い講師・内容のセミナーを開催し、組合員だけでは人数が少ない場合は非組合員にも呼びかけて動員を増やそうという声も出ていた。

また、業界の他の団体とのタイアップでのセミナーを開催してはどうかという意見もあった。

環境分科会

環境委員会 / 細井俊男委員長(愛知県工組副理事長)
報告事項としては、まず日印産連の「リサイクル対応型印刷物製作ガイドライン」がある。これは環境意識の高い団体・企業に対する提案に活用できるもので、資材確認表を日印産連のホームページで見ることができる。

地球温暖化対策では、省エネ法が来年4月から改正され、エネルギー使用量の極めて小さい工場や事業場においても、エネルギー使用量の計測・把握が必要となり、



環境報告をする細井副理事長

企業全体での年間の合計エネルギー使用量の原油換算値で1,500以上であればエネルギー使用状況届出書を経済産業局へ提出しなければならなくなる。今回の改正では、従来の省エネ法の工場事業場ごとのエネルギー管理から、企業全体での管理に変わる。従って、本社・工場・支店・営業所などの企業全体の年間使用エネルギー使用量・原油換算値が合計して1,500以上であれば、そのエネルギー使用量を企業単位で国に届け出て、特定事業者の指定を受けなければならなくなる。印刷の見積りのようにソフトが出てくればいいのだが、実際にそれが本当にできるのだろうかという疑問がある。問題として現実と直面しているわけだが、なかなか前に進まないのが現状である。平成21年度も取り組まなければならない課題が山積しており、それに対応していかなければならないことは十分に承知しているのだが、何から手をつけていけばいいのかが、それを全印工連から指標として出していきたい。

カーボンフットプリントなどに使われる印刷物は新しい仕事として増加していくと思われるので、積極的に取り組んでいこうという前向きな意見が出ていたが、ISO14001やGPの認証取得についても、各県の反応を見ていると雰囲気は重苦しい。愛知県の環境委員会も地味な感じなのかあまり多くの参加が見込めないで、経営革新委員会との合同で事業を行っている。そういう形で少しでも環境に興味をもっていただけるように事業を展開している。

組織運営分科会

組織運営委員会 / 楠行博委員長(富山県工組常務理事)
報告事項としては、先般、大阪でブロック会議があった。今回は、十分な時間を取って意見交換を行った。組合員の異動状況だが、今年は組合員が321社減少した。魅力ある組合はどうあるべきか、今回は原点に戻って話し合った。各県工組はどのような組織、どのような時期に、どのような会場で、どういった内容の事業を行い、何人くらいが集まり、組合員の反応はどうだったかを聞いた。業態変革も我々執行部としては、組合員にどう伝えるか

で悩んでいる。協議した中で、全印工連2010計画と組織運営委員会の全国方針をリンクさせるべきではないかという声が上がった。また、組織運営委員会も3年計画を立案し、具体的に進めてはどうかという意見も出た。研究ではなく具体的なテーマを掲げるべきではなどの意見が出された。結論としては、各県工組で事業の進め方や組織を見直そうという意見に集約された。

共済事業分科会

共済事業委員会 / 畠山三恵子委員長(三重県工組専務理事)

第一生命には「生命共済」、共立には「せつび共済」「医療共済」「災害補償共済」を詳しく説明していただいた。実体験があると非常にPRしやすいということで、保険会社にいろいろな事例を一冊にまとめてもらうことを提案させていただいた。団体契約のスケールメリットは非常に大きいと思うので、掛金は安く補償は高いということに組合員の皆様に改めてアピールしたい。DVDをあまり活用されていないようだが、中身は濃く20分程度で見られる内容なので、各県工組で鑑賞の機会を設けていただきたい。

「業態変革」については、理事会や地区協では共有されているが、全組合員単位となると言葉自体が理解されていないように感じるので、できれば地域単位で専門の講師を招き、ミーティング形式で「業態変革」という言葉ではなく、「元気になるよ」というような言葉でアピールして「業態変革」の意味を伝えていっていただこうという声が上がっていた。

理事長会

理事長会 / 福島理夫石川県工組理事長
全印工連からの要望としては、「業態変革実践プラン」のセミナーについては、各県工組で開講していただきたいとのことである。10月の全印工連フォーラムでアメリカのPIAのマーキン会長が講演されるので、参加してい

OLIVER496SD

大型多色SDシリーズ 第一弾

菊全判4色
印刷機

オールインワン
最新自動化設備 完全装備

最高の製品をお届けすることで、お客様の満足をお約束します

株式会社 桜井グラフィックシステムズ
<http://www.sakurai-gs.co.jp>

本社 〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9
TEL.(03)3643-1131(代) FAX.(03)3643-1138

中部営業所 〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)35-2551(代) FAX.(0575)35-2881

大阪営業所 〒532-0012 大阪府淀川区木川東3-1-31
TEL.(06)6308-6651(代) FAX.(06)6308-6679

九州営業所 〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL.(092)741-2672(代) FAX.(092)741-2670

岐阜工場 〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)33-1260(代) FAX.(0575)33-3146

供花・枕花 会員特別価格

～こころを贈る～

※写真はイメージです。

枕花 一对

会員価格

21,000円⇒**18,900円**

供花 一对

会員価格

15,750円⇒**14,175円**

※写真はイメージです。

すべて 税・送料込み 価格です。(市内届けのみ)

● 昭和区 八事セレモニーホール(光明殿)

● 昭和区 八事セレモニーホール(遍照殿)

● 瑞穂区 新瑞セレモニーホール(安楽寺会館)

● 名東区 平和ヶ丘セレモニーホール(瑞光寺会館)

● 名東区 名東てんれいホール(めいとうてんれいホール)

● 中区 大須セレモニーホール(極楽寺ホール)

● 中区 東別院セレモニーホール(洞仙寺ホール)

● 中区 新栄セレモニーホール(宗円寺ホール)

● 天白区 植田セレモニーホール(平田院ホール)

● 守山区 守山・長久手セレモニーホール(聖徳寺会館)

● 東区 東セレモニーホール(養寿院ホール)

● 千種区 星ヶ丘セレモニーホール(大東殿)

● 緑区 緑・豊明てんれいホール(みどりてんれいホール)

● 南区 南てんれいホール(みなみてんれいホール)

※順不同

葬儀費用20%OFF 愛知県印刷工業組合 指定葬儀社 ALL TIME SUPPORT SYSTEM

0120-052-091

中日典礼株式会社
名古屋市中区平和2-1-1
URL <http://sougi-annai.co.jp>
E-MAIL info@sougi-annai.co.jp

ただきたい。来年は全印工連の役員改選があり、委員会等の組織改変や名称変更もあるので、情報を迅速に伝え各県工組の組織との連動を図っていききたい。また、来年は岐阜で印刷文化典が開催される。主催は全印工連と中部地区協である。自分達も主催者の一員であることを各県工組には再認識していただきたい。

官公需の最低制限価格の問題については、各県工組が取り組まれ、最低制限価格制度の導入もある程度は進んでいるが、比較的簡便で取り組みやすい方向性の調査を全印工組にしていってほしいという要望があった。

全印工連の見解

【水上光啓会長】 すぐにできることと、できないことがある。すべて武石専務理事が書き留めているので、ここで答えられないものは全印工連に持ち帰って検討したい。答えられる問題に対しては、できる限り返答をさせていただくので、よろしくお願ひ申し上げる。

【武石三平専務理事】 官公需については、県庁レベルで最低制限価格制度が導入されたのは8県、市レベルでは7市に導入されている。問題は適正価格の基準がどこにあるのかである。そこがはっきりしないので、ダンピングが行われることになる。官公需については、各自自治体の長が決定することになっているので、判断はそれぞれという形になってしまう。各県の情報を寄せていただければ、少しでも参考になる事例を紹介できると思う。権利の帰属問題では、二次利用されると、それぞれ所有権者・著作権者がいるわけなので、それを無視して無断で使用すると法的な問題が出てくるので、十分に気をつけていただきたい。原則は印刷物をつくる際の中間生成物については印刷会社に所有権があるので、そこをきちんと押さえておくことが必要になる。官公需委員会で検討し、国への要望も含めて対応を取らせていただく。

「リサイクル対応型印刷物製作ガイドライン」では、A B C Dの4つのランク分けされ、国は基本的にはB C Dランクのものは発注しない。Aランクで紙へのリサイ

クルのできるものでなければ、印刷物の発注を行わなくなる。印刷会社にとっては大変に大きな問題だが、環境問題については一つの産業を超えて国全体の大きな取り組みになっている。これを一業種の単体の意見で変えるのは非常に難しい。環境問題に関しては、日印産連を通じていろいろ意見は言っているが、ガイドラインが打ち出されているので、それに沿って対応していくことになっている。

教育・労務で出ていた地域あるいは実情に合っていない研修内容という意見については、全印工連もなかなか全地域をカバーするようなそれぞれの地域の特性に合ったセミナー内容は企画し難い部分もあるが、各県からの具体的な要望があれば寄せていただきたい。また、他の組織とタイアップしてのセミナーも大歓迎である。各団体がいろいろな事業を進めており、それを一つの団体だけで終結させるのはもったいない。そういうセミナーはぜひ共有したいし、全印工連が実施する事業には他団体からも参加してもらいたい。各県工組もそれを念頭に置き、お互いが行き来をして印刷産業全体の発展という認識をもっていただきたい。

環境問題については、国の施策がどんどん先行して、業界がなかなかそれに追いつけないという部分がある。全印工連としては、情報は迅速に伝えていく。「カーボンフットプリント」「カーボンオフセット印刷」など、新しい言葉も出てきている。取り組む、取り組まないを判断する材料がないと、顧客への提案もできないので、全印工連ではわかった範囲でどんどん情報を流していく。

共済事業委員会から「業態変革」という言葉が全組員にまで到達していないという意見が出された。「業態変革」と言われると、ガラッと業態を変えるような受け止め方をされているとすれば、決してそうではない。それは冊子にも書いてあるので、ぜひ読んでいただきたい。読めば理解してもらえると考える。「業態変革」は全印工連の大きな柱であり、各県工組の21年度の大きな事業である。「実践プラン」の冊子はその入口なので、読むことを組員の皆様に推進していただきたい。

総括(まとめ)

【四橋英児中部地区協会長】 各県工組それぞれホームページを開設していると思う。その中で、今後のフォローを見ていただきたい。また、中部地区協を開催する前に、各県工組の動きをホームページでチェックしてから出席していただくと、より深く協議できるので、これからはそういう形で進めていただきたい。

官公需の最低制限価格制度は、中部地区ではまだ導入されていない。岐阜県工組では、不正取引対策委員会を設置しているので、そこで勉強会を繰り返し行い、最低制限価格制度の導入に向けて一所懸命努力しているところである。最低制限価格制度が導入できなければ、官公需対策は机上の空論に終わってしまう。従って、絶対に導入するとの決意で臨んでいる。各県工組の皆様にも積極的な取り組みをお願いする。

新GPマークの表示について

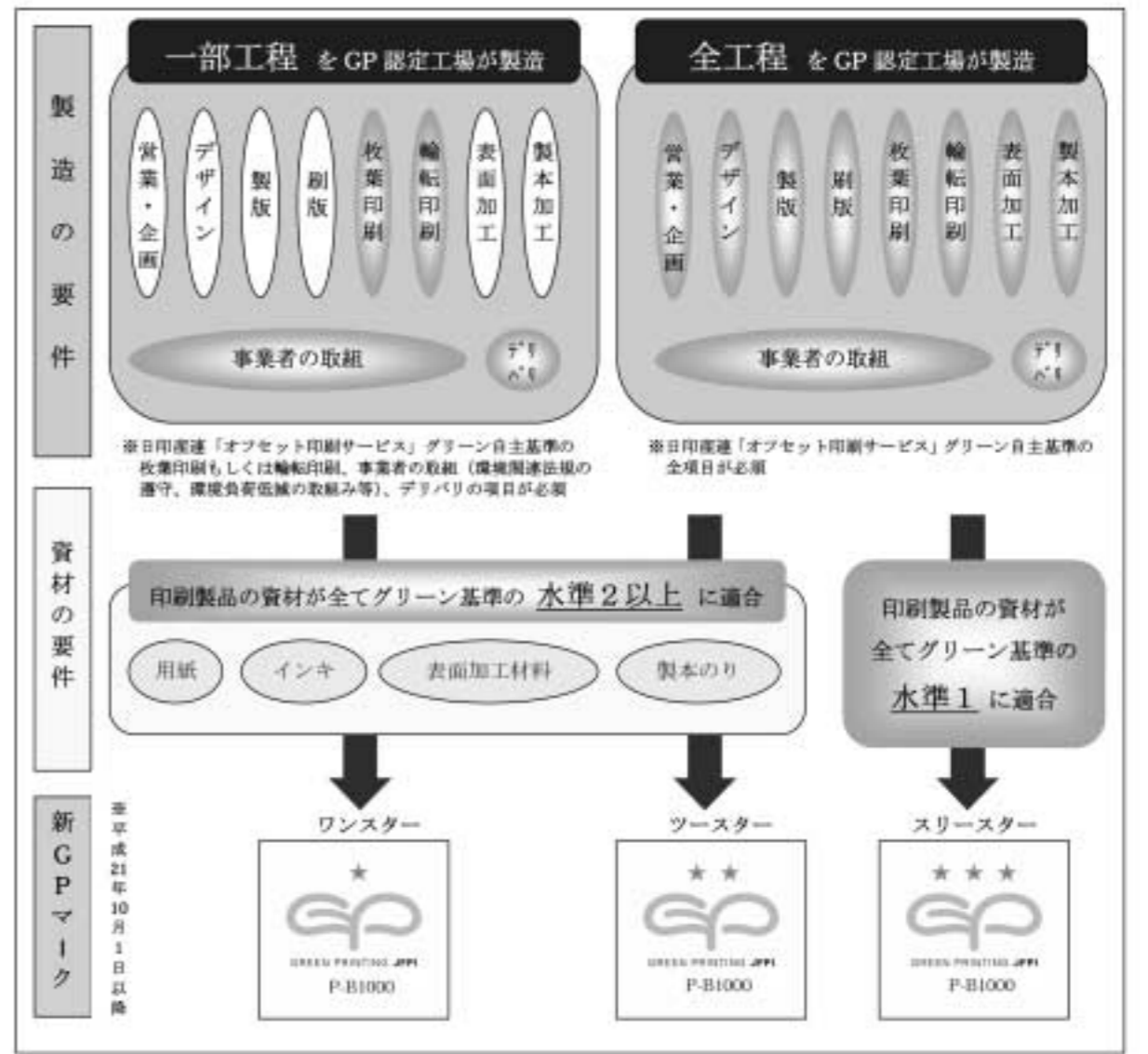
全日本印刷工業組合連合会・環境委員会から、7月16日に開催された日印産連グリーン購入検討会で、「新GPマークの表示」について、下記のように決定された旨の報告がありましたので、お知らせします。

日印産連は、10月1日より、GP認定工場が製造するGP認定製品の環境配慮ラベルを3種類(スリースター、ツースター、ワンスター)に区分する新GP

マークの表示を開始します。

- ・スリースター(☆☆☆)：GP認定工場の全工場製造、かつ、全てグリーン基準の第1水準の資材使用
- ・ツースター(☆☆)：GP認定工場の全工程で製造、かつ、全てグリーン基準の第2水準以上の資材使用。
- ・ワンスター(☆)：GP認定工場の一部工程で、かつ、全てグリーン基準の第2水準の資材使用。

印刷製品への新GPマーク表示の概要



Axuasは
自然にやさしい紙の流通を目指します。

再生紙・非木材紙、植林木使用紙、
FSC商品およびECFパルプ製品など、
常に環境を配慮した提案・提供を
推進してまいります。

株式会社 アクスアス
代表取締役 大河内 健二

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号
紙営業部 TEL.(052)220-5511 IP電話 (050)3533-5511 FAX.(052)220-5522
包材営業部 TEL.(052)220-5507 IP電話 (050)3533-5612 FAX.(052)220-5517
管理本部 TEL.(052)220-5571 FAX.(052)220-5565
東京洋紙営業所 〒103-0021 中央区日本橋本石町4-5-3 TEL.(03)3242-5561
東京包材営業所 〒130-0021 墨田区緑2-10-13 コーポ今井403号 TEL.(03)5600-3070
Home Page <http://www.axuas.jp> / E-mail info@axuas.jp

「印刷業者の倒産動向調査」

（株）帝国データバンク

昨年後半から印刷業者の倒産が増加
2009年上半期の倒産は89件

（株）帝国データバンクが発表した「印刷業者の倒産動向調査」によると、2009年上半期の倒産は89件で、2001年以降では最多となった。負債1億円未満の中小・零細企業が6割を占め、販売不振や売掛金回収難などの「不況型倒産」も8割を超えている。

製紙メーカー各社が2008年5月末に印刷用紙の15%値上げを行った。この値上げ分を価格転嫁できない中、リーマンショックを引き金とした受注減少が襲い、印刷業者は苦境に立たされた。帝国データバンクでは、2001年から2009年6月までに法的整理を申請した印刷業者の中から、2009年上半期に倒産した89社を主な対象に、倒産動向について調査・分析を行った。

* * *

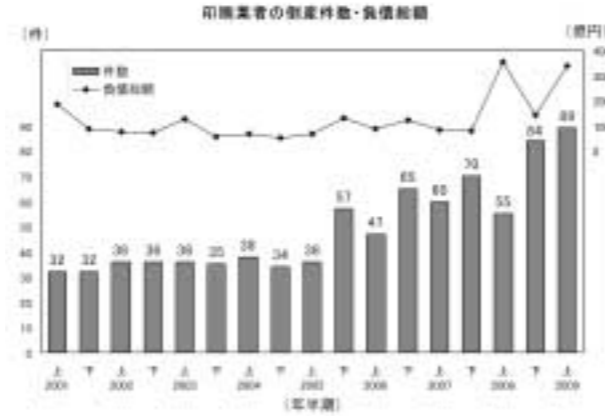
2001年から2009年6月までの印刷業者の倒産は842件発生している。特に、2008年下半期は84件（前年比+52.7%、前年同期比+20.0%）に増加。更に、2009年上半期は89件（同+6.0%、同+61.8%）発生し、半期ベースで2001年以降最多となった。

負債総額は、2009年上半期で338億900万円となり、前年同期の354億1100万円につく高水準となった。

態様別でみると、「破産」が85件、「特別清算」が1件、「民事再生法」3件で、「会社更生法」は発生しなかった。

負債額別では、「1000～5000万円未満」が34件で最も多く、ついで、「1億～5億円未満」が24件、「5000万～1億円未満」20件。負債1億円未満の中小・零細企業が6割を占めた一方、負債10億円以上は6件発生している。資本金別では、「1000～5000万円未満」が42件で最も多く、「100～1000万円未満」30件と続き、個人経営と資本金1000万円未満の小規模企業が40件を占めた。

倒産の主な要因は、2009年は「販売不振」が68件、「売掛金回収難」3件、「業界不振」3件と続く。販売不振や売掛金回収難などの「不況型倒産」は74件、一方、「放漫経営」は1件に止まっている。「設備投資の失敗」「その他の経営計画の失敗」は発生しなかった。



印刷業者の場合、過大な設備投資などよりも、用紙値上げ、受注減など、外部要因が主な原因となって倒産にいたるケースが大半であることを示している。

業歴別にみると、「30年以上」が37件でトップ、ついで、「20～30年未満」23件、「15～20年未満」が10件。「老舗倒産」の構成比が40%を上回った一方、業歴10年未満の倒産は11件発生している。2009年上半期は、「老舗倒産」が高水準で推移していることには変わりはないが、業歴の浅い業者の倒産も散発した。

地域別では、「関東」が39件、「近畿」が26件、「中部」が6件であった。都市圏での増加が目立った。

帝国データバンクでは、「各種経済指標が軒並み改善を示すなど、国内景気は最悪期を脱しつつある。しかし、不動産を中心に広告費が削減され、チラシ印刷の受注が減少している上、雑誌の休刊が相次ぐなど、印刷業者にとって厳しい経営環境が続いている。昨年の紙値上げも収益環境に大きな影響を与えており、印刷業者の倒産は、今後も高水準で推移する見通しである」と分析している。

「ジャパンカラー認証制度」認定へスタート
(株)日本印刷産業機械工業会

印刷品質基準の“共通指標”
年内中にジャパンカラー認定1号を目指す

(株)日本印刷産業機械工業会(小森善治会長)は、オフセット枚葉印刷における標準印刷「枚葉印刷用ジャパンカラー2007」を基準とした「ジャパンカラー認証制度」に本格的に取り組む姿勢を発表した。平成21年度中にジャパンカラー認定企業の第1号誕生を目指す。当面印刷会社300社の認定が目標。同制度は、ISOと整合性を図り、

ジャパンカラーという日本の標準的な色の基準に基づいて、適切に印刷できるか否かについて、印刷会社の認証を行うもの。印刷会社とデザイン関連企業なども対象としたブルーフ認定制度の2種類を先行して推進する。認証制度に関しては日印機工が実施し、調査研究・教育普及に関しては(株)日本印刷学会が中心となり、相互連携して推進する。

標準基準の普及で信頼性向上へ

日本における印刷物の色合い統一のため、日本印刷産業機械工業会のISO/TC130国内委員会と日本印刷学会標準化委員会が中心となり作成されたのが、Japan Colorである。Japan Colorは、印刷品質基準の共通指標であり、標準インキ、標準用紙、ベタ色標準測色値、網点印刷物を含めたオフセット印刷における日本の色管理ツールとなっている。

認定には2つの基準を想定している。水準2は、枚葉印刷用ジャパンカラー2007に沿った基準で、ベタ濃度、ドットゲインといった一定の評価による認証、水準1は、水準2を上回る厳しい基準での評価、カラーマネージメントなどの総合的な評価を加えた認定となる。

ジャパンカラー認証制度のメリットには、印刷会社では、品質の安定/同製品を安価にかつ早く制作できる。

コストダウン/印刷回数やヤレの減少、インキ量の削減、作業工程・制作工程の削減、配送コストの軽減、機器トラブルによる機会損失の減少、などによって生産性向上により納期の短縮が期待できる。企業イメージの向上による契約上の利点/品質保持能力、技術力、先進性、などをアピールでき、発注者からの信頼性が高まり、更なる受注拡大が見込まれる。環境負荷の低減/印刷回数やヤレの減少により、印刷工場から排出される廃棄物の削減や二酸化炭素の低減が可能となる。

一方、印刷機械メーカーでは、既存印刷機器のトラブル減少、新規受注及び買い替え需要の喚起などがある。日本印刷産業機械工業会が認定機関となり、ジャパンカラー認証事務局を設置、認証管理やテキスト作成といった実務を行う。また、ジャパンカラーの認証を取るにアドバイスを行う認定コンサルタントも設ける。

今後の予定は、7月ロゴマーク決定、8月ホームページの立ち上げ、10月JGAS2009に出展すると共に、全国主要都市で説明会を開催、12月末ジャパンカラー認定第1号を目指す。

身近な催し物のお知らせ(愛印工組関係)

開催日時	事業・行事、場所、備考
6月8日(月)～8月25日(火) 19:00～21:00	事業・行事 プロモーション・メーカー勉強会(全6回) 第6回 8月25日(火) 参加受付は終了いたしました
8月29日(土)	事業・行事 技能検定オフセット印刷作業学科試験対策学習会 ところ 名古屋会議室 伏見店 第14会議室(1級)第15会議室(2級) 参加受付は終了いたしました
8月30日(日)	事業・行事 技能検定 学科試験 詳細は受験者(会社)へ直接通知済み
9月4日(金)	事業・行事 第4回 印刷寺子屋 講師:大川 哲郎氏 (株)大川印刷社長 横浜市) ところ 愛知県印刷会館 3階 会議室 演題:調整中 定員30名 参加費:無料
9月27日(日)	事業・行事 従業員・家族合同レクリエーション大会 「平成遷都1300年の奈良・薬師寺法話とウォーキングの旅(日帰りバス旅行)」 参加費 大人1人3,000円 子供1人2,000円 座席と昼食が不要な幼児は無料です 定員200名
10月30日(金) 11:00～12:00	事業・行事 平成21年度 永年勤続優良従業員表彰伝達式 ところ 愛知県印刷会館 3階 会議室 会長及び理事長表彰(10年以上表彰) 県知事表彰(15年表彰)
11月13日(金) ～14日(土)	事業・行事 企業見学会 詳細調整中

身近な催し物のお知らせ(関係団体)

開催日時	事業・行事、場所、備考
8月21日(金)	事業・行事 (株)日本印刷学会 中部支部 平成21年度夏季印刷技術セミナー 「利益を出すための前向きなコストダウンとは」 ところ 愛知県産業貿易館 西館9階 第2会議室 参加費 会員1人7,000円 非会員1人9,000円
10月9日(金)	事業・行事 JGAS2009全印工連フォーラム2009 講師 米国印刷工業会 会長 マイケル・マーキン氏 ところ 東京ビッグサイト会議棟 6階会議室 (東京都江東区有明3-21-1) 会費(テキスト料込) 調整中

株式会社 **イノウエ**
Inoue

〒462-0854 名古屋市北区若葉通4-18-1
TEL 052/811-8211 FAX 052/811-3011
H.P. http://www.k-inoue.co.jp
E-mail: net@k-inoue.co.jp

紙でご愛顧50年

印刷用紙専門商社
メイカミ
名古屋紙商事株式会社
社長 長谷川 志

名古屋市中区主税町4-83 〒461-0018
TEL.052-931-2221(代) FAX.052-932-1418
豊山加工センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場
TEL 0568 28-2049

同業者のための印刷工場

◎ウインドウズもマックも印刷します!
◎シルバーマスターで買物もお任せ!
◎印刷から製本まで自社一貫体制!

大日印刷株式会社
0564-62-8461(代)

幸田工場/額田郡幸田町大字坂崎字石ノ塔46-1 FAX(0564)62-8463
岡崎本社/岡崎市福岡町字南藤六26-6 TEL(0564)51-9027(代)
http://www.sk2.aitai.ne.jp/ dainichi/ E-mail:dainichi@sk2.aitai.ne.jp

お役に立てる印刷機材の総合商社

創業1889年の盛功社は2009年、120周年を迎えます。
3世紀にわたるご愛顧をばげみとして新たな未来へー

●印刷機械 ●製版機械 ●製本機械
●DTP関連機 ●その他印刷諸材料

株式会社 **盛功社**
〒461-0014 名古屋市東区横木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280

日印産連「グリーンプリンティング認定工場」 新たに15工場を認定

(社)日本印刷産業連合会(山口政廣会長)は、第12期「グリーンプリンティング認定工場」として、新たに15工場を6月24日に認定した。これでGP認定工場は162工場になった。

【第12期認定工場】

オフセット印刷部門

香川印刷(株)(高松市)、池田印刷(株)京浜島工場(東京都大田区)、(株)盛栄堂印刷所(東京都墨田区)、伊坂美術印刷(株)大利根工場(埼玉県北埼玉郡)、二葉印刷(株)(東京都千代田区)、(株)光和印刷茨城町工場(茨城県東茨城郡)、信行印刷(株)本社(東京都墨田区)、信行印刷(株)立川工場(東京都墨田区)、(株)小林断裁(東京都墨田区)

シール印刷部門

(株)ファイン・ラベル本社・本社工場(群馬県桐生市)、MSP(株)上野原第一工場(山梨県上野原市)、

グラビア印刷部門

日新シール工業(株)本社工場(大阪府堺市)、(株)多漣堂(埼玉県川越市)、北上産業(株)(さいたま市)、トーホー加工(株)東村山工場(東京都東村山市)

【GP工場/第13期認定受付中】

日印産連では、グリーンプリンティング認定工場の第13期認定を受付中である。締切日は平成21年8月24日(月)まで。

平成18年9月より認定を開始(シール印刷、グラビア印刷、スクリーン印刷は平成20年3月から)。現在までに162工場が認定を受けている。

認定を受けるとGPマークを表示することができ、平成20年9月で5,700万部のGPマーク表示の印刷物が市場に出回っている。

認定を受けた工場は、環境優良工場としてクライアントなど社会に対して、自社を幅広くPRすることができる。

更に、名刺やホームページなどにも表示することができるので、環境経営に積極的な企業としての評価を得ることができる。これらはGPマーク取得によるメリットである。

グリーンプリンティング認定制度の詳細は、日印産連「グリーンプリンティング認定事務局」TEL03(3553)6051まで。

地域力の再生と印刷メディアの関係性、展開可能性に関して複数の異なる視点から解明する内容となっている。第1部「産業白書」は、印刷会社の立場からマクロに捉えた動向を観点別に掲載。第2部の「ビジネスビジョンブック」は、今後どのような経営、ビジネスの選択をしていくことがより妥当性が高いかを考える内容となっている。第3部「イエローブック」は、白書の内容と連動しながら、業界向上に努めるJAGATの全体像を紹介する目的で、「JAGATサービスガイド2009」を付している。

「印刷白書2009」

発行=(社)日本印刷技術協会、判型=A4判並製、頁数=144頁、定価=30,000円

日本印刷技術協会書籍販売係り
TEL03(3384)3112まで。

事務局だより

7月末だというのに、また入梅があげません。本当に異常気象なのですね。豪雨がったり、竜巻が異常発生したり、日本のみならず世界中におきていますから、心配にならざるをえません。中部地区印刷協議会の上期会議(富山県会議)から、水上会長の講演、分科会の模様をお伝えしました。長時間にわたったの会議でしたので、記事は概要になっていますが、それぞれのエキスを纏めております。何かヒントを得ていただければと思います。帝国データバンクが「印刷業者の倒産動向」を発表しました。2009年上半期で89件の倒産があり、今後も増える可能性があります。高井理事長が指摘する「売上対経常利益率5%(1人当たり100万円の利益)」を是が非でも成しえませんか、本当に倒産してしまいます。

新刊書案内

「印刷白書2009」

(社)日本印刷技術協会(略称JAGAT、浅野健会長)では、この程、経営戦

略策定のためのナビゲーション・ブック「印刷白書2009」を刊行した。

本書は、印刷産業の現状と動向を統計データと分析により、その時代の特徴をわかりやすく解説した印刷とメディアの白書となっている。3つの書(ブック)と1つの特集の計4部構成となっており、「特集」は、



あいの印刷

No.453

平成21年8月10日発行

発行人 高井昭弘

編集 組織・共済・労務委員会

発行所 愛知県印刷工業組合

〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号

TEL 052 962-5771

FAX 052 951-0569

ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

E-mail アドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp